



つべつ

第90号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和2年1月1日発行
<http://www.protech-web.co.jp/homepage/tsubetsu/index.html>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>



年賀状づくりボランティア活動!

令和2年の新年を皆さん元気で迎えようと、一人暮らしの方たちへの年賀状づくりが、ボランティアの皆さんのご協力で行いました。

干支のねずみに水彩で色を付け、野菜ハンコを押し、新年のあいさつを一言加えました。

この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

謹賀新年

地域での「つながり」を深め、安心して 住み続けられるまちを目指して



社会福祉法人
津別町社会福祉協議会
会長 原田英機

新年明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆様には、健やかで希望に
満ちた新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

昨年中は、社会福祉協議会の活動
に深いご理解とご支援、ご協力を賜
り、誠にありがとうございます。

さて、昨年も関東地方や甲信地方
などに、台風15号及び19号により記
録的な大雨となり甚大な被害をもた
らしました。ここ数年は毎年大きな
災害が発生しており、日ごろの準備
と地域とのつながりの必要性を改め
て実感したところです。

昨年3月、内閣府は「生活状況に

関する調査」を実施しその
結果、40〜64歳の中高年の
ひきこもりが61・3万人い
るという全国集計を発表。
平成27年の15〜39歳の若年
ひきこもりの調査を合わ
せると100万人以上いる
ことがわかりました。津別

町では、平成27年度から津別町と連
携しながら社会的孤立者の調査やひ
きこもりの支援を行っていますが、
引き続き当事者や家族の相談、居場
所や社協めぐり（農園）の展開など、
住民の皆さんとの協働による取り組
みを進めていきます。

津別町の高齢化率は44%を超え、
オホーツク管内市町村で一番高い率
になっています。もちろん元気な高

齢者の方もたくさんいますが、特に
80歳代になると病気や介護を受ける
リスクが高まり、地域での見守る仕
組みづくりが必要です。令和2年度
からスタートする「第2期地域福祉
計画・第5期地域福祉実践計画」の

中では、身近な福祉相談所「ぼっと」
の取組みなど自治会と連携した取り
組みを進めていきます。

また、住民の皆さんとの協働事業
では、介護予防いきいきポイント事
業、生活支援サポート事業、ふれあ
いサロン事業、ちよこつと茶屋事業
など、地域の中に気軽に集える場の
確保など、その活動の支援を継続し
ていきます。

平成26年に町から受託した「あん
しん生活サポートセンター」の事業
も5年が過ぎ、成年後見制度の利用
相談支援、ひきこもりや生活困窮者
の支援など、地域共生社会を目指し
た相談拠点としての役割を果たして
いきます。

本年も、役職員一丸となり、町や
自治会、福祉団体など関係者の皆さ
んと共に、安心して暮らし続けられ
る地域づくりを推進してまいりますの
で、より一層の皆さんからのご支援
を心からお願い申し上げます、年頭のご
挨拶といたします。

謹賀新年

社会福祉法人

津別町社会福祉協議会

会長 原田英機

副会長 山内浩子

理事 篠森紀仁

理事 荒川博明

理事 伊東美喜子

理事 大東勲

理事 鹿中栄子

理事 庄子京子

理事 中川孝敏

理事 中島浩一

理事 福井全雅

理事 水上隆

監事 小笠原正之

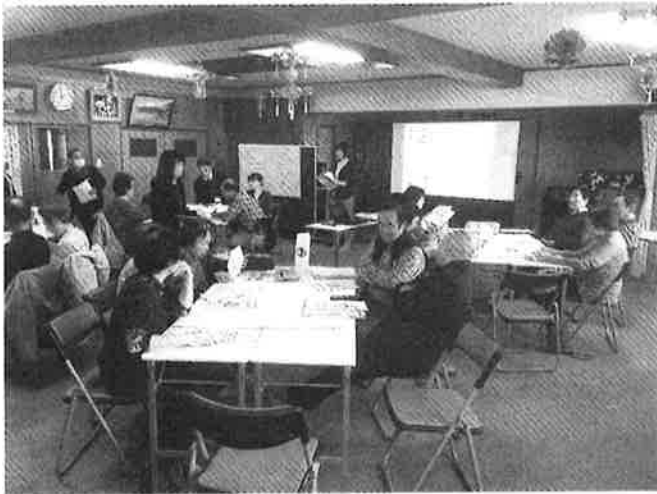
事務局長 細川順市

職員 山田英孝

職員 一同

広がりをみせている地域の支え合い活動!

第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画策定のための自治会座談会が、10月29日から町内6か所で開催。住み慣れた地域に暮らし続けていくためには、何が必要なのか、この地域の強みは何か、などグループ討論を行い、その内容を発表して討論の共有を行いました。この5年間で、サロンの開設、身近な福祉相談所による見守り活動、防災の取り組みなど、地域内に集いの場や支えあい活動が着実に広がっていることが伺えました。



地域福祉計画は、地域の支えあいによる福祉を推進するための行政（町）の計画です。地域福祉実践計画は、住民やボランティア団体など民間相互で協力しながら地域福祉を進めていく社会福祉協議会の計画です。令和2年度から6年度までの計画策定のため、町民アンケートとともに、自治会座談会を開催し、皆さんからご意見をお聞きしました。

6カ所の座談会には、17自治会79人の住民の皆さんと、町保健福祉課と社会福祉協議会の職員が加わり一緒に討論。足の確保、買い物支援、津別病院の維持、集まる場の必要性など多くの意見が出され、5年前より地域の支えあい活動が広がっていることがわかりました。出された意見は、地域福祉計画策定委員会で協議され、今年3月を目途に町長に答申されます。

1月1日付けで津別町社会福祉協議会に新しい職員が入りました。

札幌市出身の立花さおりです。

昨年12月まで、美幌町地域包括支援センターで社会福祉士として、高齢者や障がい者支援の業務を13年にわたり活動してきました。

これからは、今までの活動を生かし、住民の皆さんと一緒に安心して暮らせる地域づくりに努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



たちばな
立花 さおり

新しい
職員
です!

～認知症の人が安心して住み続けられる地域づくり～

介護者のための茶話会をしています。

介護をしている家族のための
茶話会を11月22日に開催しました。お茶をしながら、
日頃の介護体験などについておしゃべりしました。話題は
尽きず、あっという間の1時間でした。



次回2月開催予定

詳細決定後、参加希望者へ直接ご案内を送付しますので、ご興味のある方は下記
担当までご連絡ください。

「認知症の人にやさしいお店」 が誕生しています。

令和元年10月より始まった「認知症の人にやさしいお店」登録事業。
既に4店の「やさしいお店」が誕生しました。（11月末現在）



加藤信陽堂薬局店 様



増田呉服店 様



津別郵便局 様



さんさん館カフェ 様

「やさしいお店」
登録店募集中

問合せ先：津別町社会福祉協議会
認知症地域支援推進員 及川弘美
TEL:76-1161
e-mail:oikawa-hiromi@tsubetsu-shakyo.or.jp



ボランティア活動スキルアップセミナー



おいしい
コーヒーの
淹れ方教室

を開催しました。



JIMBAカフェの
幾島広樹先生に「おいしい
コーヒーの淹れ方」を教わ
りました。木のぬくもり溢
れる温かい雰囲気の中
JIMBAで14名の皆さんで
コーヒーを淹れ、交流を楽
しました。



男の料理教室 参加者募集



○日程と献立

第1回 2月19日(水) ビビンバ他

第2回 3月 4日(水) パッククッキング他

第3回 3月19日(木) 野菜グラタン・蒸しパン他

※時間は全て、午前10時から午後1時頃までです。

○場所：町民会館

○参加費：各回300円

○講師：津別町役場 管理栄養士 土井ゆかりさん
＜お手伝い：津別町赤十字奉仕団＞

○定員：各回20名

申込み・問合せ先：
津別町社会福祉協議会 76-1161



総勢140名の参加でにぎわう

令和元年度 サロン交流会



平成27年度から開催し、多くの参加をいただいている「サロン交流会」を今年も10月24日中央公民館を会場に開催しました。サロン交流会は、各地区サロン参加者の交流などを

目的に毎年開催しており、今年度は地域おこし協力隊として津別町で活動されている鈴木仁さんと一緒に、コグニイズを用いた認知症予防として様々なゲームに取り組みました。この日は、町内11地区から集まったサロン参加者やボランティアをあわせ140名が一堂に会し、毎年お願



している赤十字奉仕団のみなさんお手製のお昼ごはんを囲んでの交流では、参加するみなさんの満面の笑顔を見ることができました。
社協では、新たにサロンを開所したい団体を応援しています。関心のある方はお気軽にご連絡ください。

ボランティア 輝く人 No.19

東2条
中島 國治さん



おせち配達に出発する
中島さん
(後列右2人目)



ボランティア歴10年になる中島さん。そのボランティアの魅力は、給食配達したときの「ありがとう！」や「美味しいですよ！」と言ってくれる励ましの言葉だという。

津別郵便局退職後、札幌で仕事をしていたとき母親が転倒したことを契機に、津別に戻ってきてから始めたボランティア活動。きっかけは、知人から「何もしていないなら給食配達を」と頼まれてから。今では、「一人暮らしの集い」や「ちょこっと茶屋」、「社協めぐり（農園）」など社協事業にはなくてはならない人に。ボランティアセンター運営委員も担っている中島さん。「78歳で年だから」と言いながらも、ボランティアの引退はまだまだ先になりそうです。

メモ

「輝く人」では、社協のボランティアに登録されている方を紹介しています。第19回は、給食配達など社協事業のボランティア活動に長く貢献されている中島國治（なかじまくに はる）さんに登場していただきました。



オホーツク管内 市民後見人活動交流会



11月15日、北見市総合福祉会館を会場に、平成28年度から開催して4年目となる「オホーツク管内市民後見人活動交流会」に参加してきました。成年後見制度推進バックアップセンター（北海道社会福祉協議会）から朝倉課長をお招きし、「成年後見制度利用促進法と市民後見人の活動状況」と題しての講演。津別町で活動する市民後見人さんからも実際に受任して感じること、住民目線だからこそできる支え合いについて熱く語っていただきました。毎年活発な意見交換が行われるグループワークでは「私のなりたい後見人」について検討し、市民後見人として同じ立場にたつみなさん同士、多くの想いを共有し合える機会となりました。

この活動交流会には、北見市、美幌町、大空町、津別町、そして今年度から参加の紋別市市民後見人あわせて約60人（津別町からは8人）が参加。自分たちだからこそできる支え合いについて、多くの仲間たちと交流しながら深め合える、そんな時間にすることができました。

【津別町共同募金委員会からのお知らせ】



皆さんの善意に感謝します。



＜＜＜＜ 赤い羽根共同募金の途中結果 ＞＞＞＞

毎年全国一斉に実施される赤い羽根共同募金は、昨年の10月1日から各自治会を通して皆さんにご協力頂きました。また法人の方たちにも募金の主旨をご理解願ひ、法人と個人合わせで右記の通りの善意を寄せて頂きました。

この善意は地域の福祉を進める上で大きな財源となっており、ご協力に感謝申し上げ、途中結果を報告させていただきます。

令和元年度（12月13日現在）

■実績額	1,042,796円
戸別募金	705,810円
法人募金	286,000円
興行募金	28,986円
その他募金	22,000円

【 飲み物の寄贈 】

北海道コカコーラボトリング様から、町内の福祉施設へクリスマスプレゼントとして飲み物を寄贈していただきました。



心あたたまるご寄付 ありがとうございました。

(令和元年9月17日から令和元年12月16日)

(敬称略)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

活汲	澤田	和利	3万円
豊永	高山	サ正	2万円
豊相	山永	正敏	2万円
共和	原生	敏明	3万円
共大	和昭	柏葉	1万円
共最	和昭	嶋田	10万円
西3	上条	西村	2万円
共達	和美	有岡	3万円
西2	美美	内田	2万円
達達	美町	茂呂	10万円
幸緑	町	田原	3万円
		細川	3万円
		田中	2万円
		石井	2万円
		高橋	2万円
		山久	2万円

指定寄付

◆共和第2自治会へ	共和	茂呂竹	裕子	3万円
◆幸町自治会へ	幸町	高橋	亮	3万円
◆本幸クラブへ	幸町	高橋	亮	2万円
◆活汲老人クラブへ	活汲	澤田	和利	5万円
◆西区寿クラブへ	西3条	内田	えみ子	2万円
	達美	田原	タキ子	2万円
	西2条	細川	薫	3万円
◆五月会へ	西2条	細川	薫	3万円
◆精神がい害者家族会ひまわりの会へ	達美	田原	タキ子	2万円
◆共和寿クラブへ	共和	西村	房子	2万円

年末年始・1月・2月の予定

■社会福祉協議会の休み

12月28日 ~ 1月5日まで

■訪問介護・訪問入浴サービスの休み

12月30日 ~ 1月4日まで

■給食サービス

12月31日おせち配達

1月7日から開始。毎週火・金曜日

■一人暮らしの集い

1月15日(水) 町民会館 11時

■ちょこっと茶屋(カフェ)

1月28日(火) 町民会館 10時

■長寿者夫婦の集い

2月5日(水) 町民会館 11時

■男の料理教室

2月19日(水) 町民会館 10時

3月4日(水) 町民会館 10時

3月19日(木) 町民会館 10時

編集後記

現在、町の第2期地域福祉計画、社協の第5期地域福祉実践計画の策定が進められています。地域の中で座談会を開催し意見を聞かせていただくと、買い物等様々な問題が挙げられていました。これらの課題に社協としてどう取り組んでいくか職員一同考えていきます。

(K)